

# 農泊発祥 30 周年記念シンポジウム and スローフード交流会

## テーマ 『30年後、農泊で生き残ろう 私たちの農村』

3月28日は「グリーンツーリズムの日」です。ちょうど30年前のこの日、安心院の町で農泊(グリーンツーリズム)が生まれ、過疎という言葉もなく、バカンス政策の元「長い休暇を楽しみに仕事に頑張る」ドイツを目標に頑張ってきました。そんな中、日本の4割の市町村が30年後には消滅する可能性があると言われていています。私たちは本当に、このまま何もせずについてよいのでしょうか。

当日は、東京・霞が関から農泊推進室の皆さんも来訪されます。この機会が、地方の未来を皆で考え、一步を踏み出す勇気につながることを願っています。

この30年を振り返り、農泊は教育旅行に多大な貢献を成し、恩恵も受けました。今なお農泊に頑張っているお母さんたちの目は、輝いています。

**日 時 : 2026年3月28日(土) 13:00~ 先着200名**

**会 場 : 宇佐市院内文化交流ホール**

**参加費 : 大人1,500円 大学生以下1,000円**

※資料代(30周年記念集(74名の活力と知恵に学ぼう)配布)

スケジュール 【総合司会 : 安部 元昭 (ドリームファーマーズ JAPAN 代表)】

### ●ご挨拶 (13:00~13:10)

主催者代表 安心院町グリーンツーリズム研究会 代表 宮田 静一  
宇佐市代表あいさつ 宇佐市議会 議長 永松 郁氏

申込〆切  
3/20(金)

### ●第一部 30周年記念講演 (13:10~13:40)

講師: 吉澤 清良氏 (APU サステイナビリティ観光学部 教授)

演題 『ひたむきに問い続けた農泊の本質と可能性 ~ぶどうとワインと農泊のまち 安心院』

### ●第二部 パネルディスカッション (13:50~15:30)

司会 : 菅野 暁氏 (地域おこしコンサルタント)

【パネリスト(候補)】

竹内 秀一氏 (日本修学旅行協会 理事長) 東 崇史氏 (農林水産省 農泊推進室長)

三村 千秋氏 (広島市立安佐中学校 元校長) 田中一彦氏 (ジャーナリスト)

平田 崇英氏 (豊の国宇佐市塾 代表) 和田 久継氏 (三和酒類株式会社 相談役)

宮田 静一 (安心院町グリーンツーリズム研究会代表)

### ●第三部 30周年記念集寄稿者74名等参加者の大1分間スピーチ (15:40~16:30)

テーマ 『人に優しく 何があっても前を向く ~私のこの頃思うこと~』 司会: 谷 明美

### ●第四部 夕食交流会 ~農泊受け入れ家庭お母さんたちのスローフードでおもてなし~ (16:40~18:30)

会場 : 宇佐市院内支所 多目的ホール 司会: 宮田 宗武 参加費 : 1,500円

※農泊体験(1泊朝食付)ご希望の方は、別途お申込み下さい。大人9,300円・子ども7,300円

【主催】 NPO 法人安心院町グリーンツーリズム研究会 後援: 大分県グリーンツーリズム研究会

〒872-0521 大分県宇佐市安心院町下毛 1195-1

TEL: 0978-44-1158 FAX: 0978-44-0353 Email: japan-ajimu-gt@basil.ocn.ne.jp